

信州大学医学部国際交流推進室は  
「世界へ羽ばたく、世界から集う信州大学医学部をめざして」  
国際交流を推進します



信州大学医学部国際交流推進室 室長 樋口京一

(バイオメディカル研究所／医学部加齢生物学・教授)

信州大学医学部の国際交流のホームページへようこそ！

医学科国際交流推進室・室長の樋口です。信州大学医学部の『基本理念』には「医科学の教育・研究と医療活動を発展させることによって地域貢献を果たし、国際交流に寄与します」とあり、さらに『目標』では、「1. 優れた研究成果を広く世界に発信し、諸外国の研究者との研究協力を推進する。2. 諸外国からの学生・研究者の積極的な受け入れや諸外国への留学を奨励することにより、お互いの顔の見える人的交流を推し進める」と明記されています。医学部国際交流推進室(OICE)はこのような『基本理念』と『目標』を実現するために、日々忙しく働いています。本学部所属の学生・教職員のニーズだけでなく、国内外の学生・研究者の視点も意識し、最大限の支援を行うのが一番の目標です。

将来の医師、医療関係者、研究者にとって、諸外国の仲間との交流が大変重要であり、英語によるコミュニケーション力と経験が必須です。臆せず英語を話す習慣と医学に関する十分な知識を蓄積することが肝心で、OICEはそのための環境作りとして、海外機関との交流協定を締結し、学生交流(派遣・受入)および研究交流に積極的に取り組むとともに、派遣先での安心・安全性の確保にも全力で努めています。

2020年はCOVID-19のパンデミックで従来のような国際交流はしばらくの間できない事態になりました。しかし、ZoomなどのICTの利用で、国際交流の空間的距離が取り払われ、COIL(Collaborative Online International Learning)などの、より濃密な国際共修の取り組みが加速されています。勿論、気候、食べ物、習慣が異なる地で、人々と対面で、またグループで交流する大切さと、楽しみも捨て去るべきではありません。OICEは様々な方法で、より多くの若い学生が国際的活躍の足場を築き、世界へ羽ばたく助けになりたいと願っています。

現在、医学部国際交流推進室は、室長、副室長、コーディネーター2名が主要なメンバーですが、医学教育研修センターや学務係、さらに信州大学グローバル化推進センター、バイオメディカル研究所とも連携し、本学部の国際化を推進しています。推進室の室員は、医学部基礎棟1階の国際交流推進室または医学部事務室にありますので、気楽にお訪ねください。

◆メンバー

室長 樋口 京一 (バイオメディカル研究所／医学部加齢生物学 教授)  
副室長 田中 直樹 (国際交流担当／代謝制御学 教授)  
コーディネーター 平澤 真由美  
コーディネーター 小菅 美佳

◆場所

信州大学松本キャンパス 医学部基礎棟1階「国際交流推進室」または医学部事務室内デスク